

8月26日に発表した本市の新型コロナ対策・支援措置第4弾の事業に加えて、次の3事業を実施します。
 間もなくインフルエンザの流行期を迎えるなかで市民の健康を守り、安全・安心な市民生活を維持するため、全ての世代に対しインフルエンザの予防接種を促し、新型コロナとの同時流行リスク及び医療現場における負担の軽減を図ります。
 また、官民連携による子どもの貧困対策の強化を図り、コロナ禍においても誰一人取り残さない地域社会の構築を目指すほか、議会のICT活用を推進しデジタル化社会の更なる浸透を図ります。

事業費総額
約9,450万円
 ※追加分

⑤ 市民の健康を守り、医療機関の負担を軽減

◎インフルエンザ予防接種費用の助成【約8,600万円】

例年実施している65歳以上の方等と中学3年生への予防接種費用の助成に加え、生後6か月から64歳までの方の予防接種費用1回当たり2,000円を助成します。

接種期間：R2年10月1日～R3年1月30日 ※休診日を除く



これまで65歳以上の方等の予防接種費用は自己負担額1,500円でしたが、埼玉県が自己負担分を助成することとなったため、65歳以上の方等の費用負担はありません。

鴻巣市のインフルエンザ予防接種助成制度（R2年度）

対象者	回数	助成
65歳以上の方等	1回	県と市で全額助成
中学3年生 ※1月31日まで	1回	4,000円を上限として助成
中学1年生～64歳の方 (中学3年生を除く)	1回	1回当たり2,000円を上限として助成
生後6か月～小学6年生	2回	

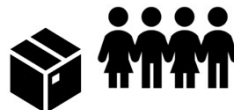
今回追加分（予防接種費用助成を全世代に拡大）

⑥ 官民連携による子どもの貧困対策強化

◎子ども食堂運営団体拠点整備【約190万円】

弁当や食材の配布に取り組む子ども食堂運営団体に提供される食材等の一時保管や仕分け、分配作業を行う拠点施設を整備します。また、今後この拠点を活用し、官民が連携して行う子どもの貧困対策の強化を進めます。

※拠点施設整備は、市の既存施設を活用するもので、整備費の主な内訳は施設の修繕及び冷蔵・冷凍設備の購入費用等となります。



⑦ ICTの活用とデジタル化の推進

◎市議会議員へのタブレット端末整備

【約660万円】



市議会議員全員にタブレット端末を配布し、会議資料等のペーパーレス化やオンライン会議の導入に向けた環境整備を進めます。市議会議員のICT活用を推進することにより、関係者間の迅速な情報共有と市民への情報発信精度の向上が期待できます。